



●ピエール=オーギュスト・ルノワール「黒い帽子の娘」

印象派の誕生

フランス19世紀絵画の流れ

ドラクロワ、コロ
ミレー、クールベ
モネ、ルノワール
ゴッホ
ローランサン
etc.

2011年7月28日(木)～9月11日(日)

沖縄県立博物館・美術館

Okinawa Prefectural Museum & Art Museum
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号 TEL:098-941-8200

開館時間/9:00～18:00(入館は17:30まで)

金・土曜日は9:00～20:00(入館は19:30まで)

休館日/毎週月曜日 ※荒天の場合は臨時休館することがあります。

観覧料
一般 1,200円(1,000円)
高大生 800円(600円)
小中生 600円(500円)

※()内は前売料金、20名以上の団体料金

【前売券販売所】
ファミリーマート各店(イープラス)、テパートリウボウ、
沖縄三越、コープおきなわ、他主要フレイグアイド

主催：文化の杜共同企業体/沖縄県立博物館・美術館

協力：エールフランス航空、KLM オランダ航空

後援：フランス大使館、沖縄県、那覇市、那覇市教育委員会、沖縄観光コンベンションビューロー、
沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK 沖縄放送局、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、タイムス住宅新聞社、
週刊レキオ社、沖縄フランス協会

特別協力：沖縄テレビ放送

企画：ホワイトインターナショナル

協賛：



印象派の誕生

フランス19世紀絵画の流れ

輝く色彩によって田園風景や都市の生活を描き、高い人気を誇る印象派。その印象派はどのように生まれたのでしょうか。本展では「印象派の誕生」に焦点をあて、歴史性や物語性を重んじたサロン絵画から、農民の姿や風景を主題としたバルビゾン派を経て、光あふれる情景を描くに至った印象派までの流れを展覧します。またナビ派やフォーヴィスムなど印象派以降に現れた絵画も紹介し、現代美術へとつながる道すじを感じてもらいます。ドラクロワ、コロー、ミレー、クールベ、モネ、ルノワール、ゴッホ、ローランサンなど46作家、78点の作品で構成される、みずみずしいフランス19世紀絵画の世界をご堪能ください。

関連イベント

- ▶ 講演会「印象派の誕生—変容する〈自然〉」
講師：浅野春男氏（沖縄県立芸術大学教授）
日時：8月7日（日）14:00～15:30
場所：3F 講堂 ※入場無料
- ▶ ギャラリートーク
日時：8月5日（金）18:30～ 担当学芸員
8月19日（金）18:30～ 浅野春男氏
※当日の鑑賞券が必要です。
- ▶ エントランスコンサート
沖縄県立芸術大学有志によるクラシック演奏
日時：8月6日（土）・20日（土）15:00～15:30
場所：1F エントランス ※鑑賞無料
- ▶ ワークショップ
※詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。



●ジュール＝エリー・ドローネー「オフェーリア」



●ウジェーヌ・ドラクロワ「近衛隊のモロッコ人」



●ジャン＝バティスト＝カミュー・コロー「二頭の山羊を連れた羊飼いの山」



●ジャン＝フランソワ・ミレー「子どもにお粥を作る若い母親」



Museum Cafe
茶花

沖縄県立博物館・美術館 3階
※会期中、特別メニューをご用意いたします。

沖縄県立博物館・美術館

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
TEL: 098-941-8200 FAX: 098-941-2392
http://www.museums.pref.okinawa.jp/



- 【バス】
那覇空港発
99番線 おもろまち3丁目バス停下車 徒歩5分
120番線 上之屋バス停下車 徒歩10分
市内線
3・7・10番線 県立博物館前バス停下車
6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車 徒歩5分
市外線
バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車 徒歩10分
国道58号経由 上之屋バス停下車 徒歩10分
おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車 徒歩3分
- 【沖縄都市モノレール】
「ゆいレール」 おもろまち駅下車 徒歩10分

【協賛社】

福山商事(株)、ザ・テラスホテルズ(株)、(株)旭堂、(株)イズム、(有)ハイウェイ沖縄、(株)普久原楽器、(株)スカイ企画、(株)東洋設備、沖縄ビル・メンテナンス(株)、國和第一ハイヤー(株)、特別養護老人ホーム大名、(株)琉球総合保険サポート、(株)クリード沖縄、富士ツーリスト、(株)国建、街クリーン(株)、(株)琉球リース、(株)エスエルアイ、(有)池宮商事、沖縄ワシントンホテル、(有)プロサウンドスタック、(有)新舞台、(有)沖縄ピーアール商会



●アルフレッド・シスレー「冬-雪の効果」



●ギュスターヴ・クールベ「フレールのムーズ川」



●ジョルジュ・スーラ「イルド＝フランスの風景」



●フィンセント・ファン・ゴッホ「ホーヘフェーンの農場」

ロマン派

バルビゾン派

印象派

ポスト印象派